

アルコニックス株式会社
2026年3月期
決算説明資料

2026年5月21日



INDEX

1. 2026年3月期 決算概要
 2. 2027年3月期 通期業績見通し
 3. 長期経営計画2030進捗
- 会社概要 / Appendix

<p>経営環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ データセンター関連が伸長、スマホ関連は堅調を維持、半導体関連は下期より回復傾向。 ▶ 自動車関連は関税や北米EV減速の影響でまだら模様。二次電池も北米EV影響により減速。 ▶ アルミ・銅市況・非鉄金属スクラップ市場は下期より需要回復傾向であったものの上期は不振。 ▶ タングステン等のレアメタル価格が高騰、ニッケル価格は円建てで前期より上昇傾向。
<p>2026年3月期 決算</p>	<p>売上高 : 219,720百万円 (前期比+11.5%)</p> <p>営業利益 : 9,743百万円 (同+40.8%)</p> <p>営業利益率 : 4.4% (同+0.9pt)</p> <p>経常利益 : 8,947百万円 (同+18.9%)</p> <p>経常利益率 : 4.1% (同+0.2pt)</p> <p>当期純利益^{*1} : 5,598百万円 (同+16.5%)</p>
<p>2027年3月期 業績見通し</p>	<p>売上高 : 235,000百万円 (2026年3月期比+7.0%)</p> <p>営業利益 : 10,700百万円 (同+9.8%)</p> <p>経常利益 : 10,000百万円 (同+11.8%)</p> <p>当期純利益^{*1} : 6,600百万円 (同+17.9%)</p>
<p>配当政策 株主還元策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 前期より13円の増配を実施 ▶ 「長期経営計画2030」においてDOEは4%以上を目標とする 中間配当42円 + 期末配当45円^{*2} = 年間87円 (予定)

*1 当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益 *2 2026年3月期末配当金は2026年6月開催予定の第45回定時株主総会に付議予定です。

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	対売上高比率	増減率	2026年3月期計画値(通期)	
					通期見通し	進捗率
売上高	197,004	219,720	-	+11.5%	215,000	102.2%
売上総利益	26,021	30,625	13.9%	+17.7%	29,000	105.6%
販売費及び一般管理費	19,101	20,882	9.5%	+9.3%	20,200	103.4%
営業利益	6,919	9,743	4.4%	+40.8%	8,800	110.7%
経常利益	7,528	8,947	4.1%	+18.9%	8,200	109.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,805	5,598	2.5%	+16.5%	5,400	103.7%
1株当たり 当期期純利益(円)	159.31	186.58	-	-	179.97	-
EBITDA (参考)	11,734	14,519	6.6%	+23.7%	13,000	111.7%
ROE	8.6%	9.6%	-	-	9.2%	
ROIC	3.9%	4.2%	-	-	5.4%	

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 株主資本 × 100

ROIC = 税引後営業利益 ÷ (有利子負債 + 株主資本) × 100

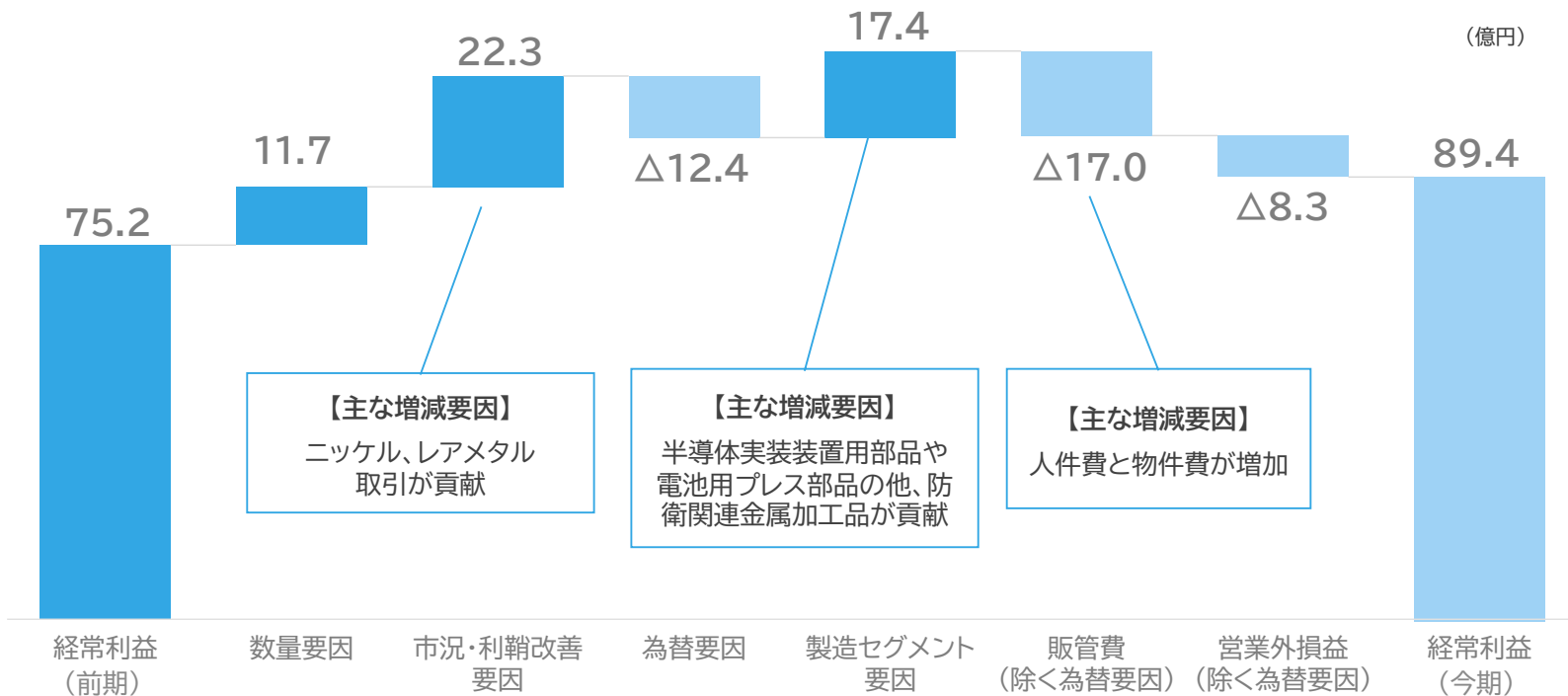
※「株主資本」の定義: 連結貸借対照表の「資本金」+「資本剰余金」+「利益剰余金」

経常利益の増減分析 前期比



※1 小数点第1位以下は切捨表記

※2 端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある



セグメント別業績 2026年3月期



※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

		(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	構成比	増減額	増減率
商社流通	電子機能材	売上高	32,054	39,763	18.1%	+7,709	+24.1%
		セグメント利益	2,235	2,875	32.1%	+640	+28.6%
	アルミ銅	売上高	82,552	90,601	41.2%	+8,048	+9.7%
		セグメント利益又は損失	492	△ 65	-%	△ 558	-%
	計	売上高	114,607	130,364	59.3%	+15,757	+13.7%
		セグメント利益	2,727	2,809	31.4%	+82	+3.0%
		利益率	2.4%	2.2%	-	△ 0.2pt	-

		売上高	セグメント利益
電子機能材	レアメタル取引と電池関連取引が寄与し、増収	増収要因に加えニッケル取引の収益率回復が寄与し、増益	
アルミ銅	アルミ／銅の相場上昇とスクラップの需要回復が寄与し、増収	上期における利益率の低迷に加え、自動車関連製品の需要減退により、減益	

セグメント別業績 2026年3月期



※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

		(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	構成比	増減額	増減率
製造	装置材料	売上高	45,831	48,428	22.0%	+2,597	+5.7%
		セグメント利益	1,610	1,482	16.6%	△127	△7.9%
	金属加工	売上高	36,566	40,926	18.6%	+4,360	+11.9%
		セグメント利益	3,241	4,630	51.7%	+1,389	+42.9%
	計	売上高	82,397	89,355	40.7%	+6,957	+8.4%
		セグメント利益	4,851	6,112	68.3%	+1,261	+26.0%
利益率		5.9%	6.8%	-	+1.0pt	-	

		売上高	セグメント利益
装置材料	北米市場のめっき材料、非破壊検査用材料等が寄与し、増収		増収要因はあるものの、カーボンブラシ事業の不振により、減益
金属加工	チップマウンター部品や電池用プレス部品関連取引が寄与し、増収		増収要因に加え、航空・宇宙・防衛関連の金属加工品が寄与し、増益

グループ会社別取扱品目一覧

※売上総利益ベース(前期比)
YoY 増加:○ 減少:×



	取扱い グループ会社	自動車 (部品・材料)	半導体	電子材料 電子部品	その他	長計2030 注力事業
電子機能材	<ul style="list-style-type: none"> アドバンスト マテリアルジャパン ANDEX 	<ul style="list-style-type: none"> EV/FCV部品材料 × 車載電池用材料 × 	<ul style="list-style-type: none"> 半導体各種材料 × 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯機器端末部品材料 × IT機器部品材料 各種電池材料 ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 特殊鋼素材(レアメタル) ○ *ニッケル、モリブデン等 	<p><モビリティ領域></p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代パワー半導体材料
アルミ銅	<ul style="list-style-type: none"> 林金属 アルコニックス・三高 アルミ銅センター 平和金属 	<ul style="list-style-type: none"> 電装部品 自動車構成部材 × 	<ul style="list-style-type: none"> リードフレーム用銅条 × 	<ul style="list-style-type: none"> コネクタ部品 プリント基板部品 	<ul style="list-style-type: none"> 建築資材 × 電気設備部品(ブスパー) アルミ缶材 熱交換器用素材(チタン他) 医療向けチタン展伸材 × 空調機器向け材料 (アルミ圧延品・伸銅品) 	<p><モビリティ領域></p> <ul style="list-style-type: none"> 非鉄金属素材リサイクル <p><半導体領域></p> <ul style="list-style-type: none"> 半導体ウェハリサイクル HVAC材料 <p><次世代エネルギー領域></p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光パネルリサイクル
装置材料	<ul style="list-style-type: none"> UNIVERTICAL HD 東海溶業 マークテック 富士カーボン製造所 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車構成部材用めっき材料 金型用溶接材料 ブレーキパッド用カシュー樹脂 自動車生産ライン向け 非破壊検査装置/化成品 電装部品用モーター部品 	<ul style="list-style-type: none"> 半導体用めっき材料 ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 電波吸収体 	<ul style="list-style-type: none"> 非破壊検査装置/検査用化成品 ○ マーキング装置 電気設備部品(ブスパー) ○ 電動工具/家電等向けモーター部品 	<p><モビリティ領域></p> <ul style="list-style-type: none"> ギガキャスト製品/金型修理材料 <p><半導体領域></p> <ul style="list-style-type: none"> 検査用レーザー装置 <p><次世代エネルギー領域></p> <ul style="list-style-type: none"> 熱線吸収材 粉体物性測定
金属加工	<ul style="list-style-type: none"> 大川電機製作所 大羽精研 富士プレス FUJI ALCONIX Mexico 富士根産業 ジュピター工業 ソーテナガノ 坂本電機製作所 	<ul style="list-style-type: none"> パワートレイン向け部品 二次電池向け部品 自動車試作部品 	<ul style="list-style-type: none"> 製造装置向け部品 実装装置向け部品 ○ 	<ul style="list-style-type: none"> コネクタ端子部品 	<ul style="list-style-type: none"> 航空機用部品 空調機器向け部品 	<p><半導体領域></p> <ul style="list-style-type: none"> チップマウンター部品 据置型電池用防爆弁

連結貸借対照表 2026年3月期



- ▶ 棚卸資産／仕入債務及び短期借入金：レアメタル関連およびリサイクルの大口需要のため増加
- ▶ 固定資産：製造セグメントの設備増強および相場上昇による投資有価証券評価額が増加

資産の部 (百万円)	2025年3月期	2026年3月期	増減額	負債・純資産の部 (百万円)	2025年3月期	2026年3月期	増減額	自己資本比率
流動資産	144,374	162,291	+17,916	負債	126,321	142,485	+16,163	35.6%
現金及び預金	18,762	21,537	+2,774	流動負債	103,196	120,429	+17,233	(前期末)
売上債権	63,291	68,025	+4,734	仕入債務	53,382	60,054	+6,671	35.4%
棚卸資産	56,496	66,977	+10,480	短期借入金等	38,591	46,800	+8,208	ネットD/Eレシオ
固定資産	52,259	60,136	+7,876	固定負債	23,125	22,055	△ 1,070	0.5
有形固定資産	37,374	39,401	+2,027	長期借入金	15,150	13,474	△ 1,675	(前期末)
無形固定資産	2,995	2,650	△ 345	純資産	70,312	79,942	+9,630	0.5
投資その他の資産	11,889	18,083	+6,194	株主資本	56,986	60,241	+3,255	
資産 合計	196,634	222,427	+25,793	その他の包括利益 累計額	12,670	18,984	+6,314	
				負債及び純資産 合計	196,634	222,427	+25,793	

連結キャッシュ・フロー 2026年3月期



- ▶ 営業CF : レアメタルおよびリサイクル関連の在庫増から前期を下回る
- ▶ 投資CF : 製造セグメントでの設備投資増も、不動産売却もありネット投資額は前期を下回る
- ▶ 財務CF : 短期借入金が大幅に増加
- ▶ 現預金 : 国内グループ各社はCMS活用も、海外グループ各社での手許現預金増から前期を上回る

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	19,721	17,781	△ 1,940
営業C/F	7,003	2,424	△ 4,578
運転資本の変動等	△ 3,217	△ 8,060	△ 4,842
投資C/F	△ 4,705	△ 3,218	+1,487
有形・無形固定資産取得等	△ 7,091	△ 8,660	△ 1,568
フリーC/F	2,297	△ 793	△ 3,091
財務C/F	△ 4,799	3,341	+8,141
換算差額	562	485	△ 77
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,940	3,032	+4,972
現金及び現金同等物の期末残高	17,781	20,813	+3,032

非鉄金属市況・為替の動向

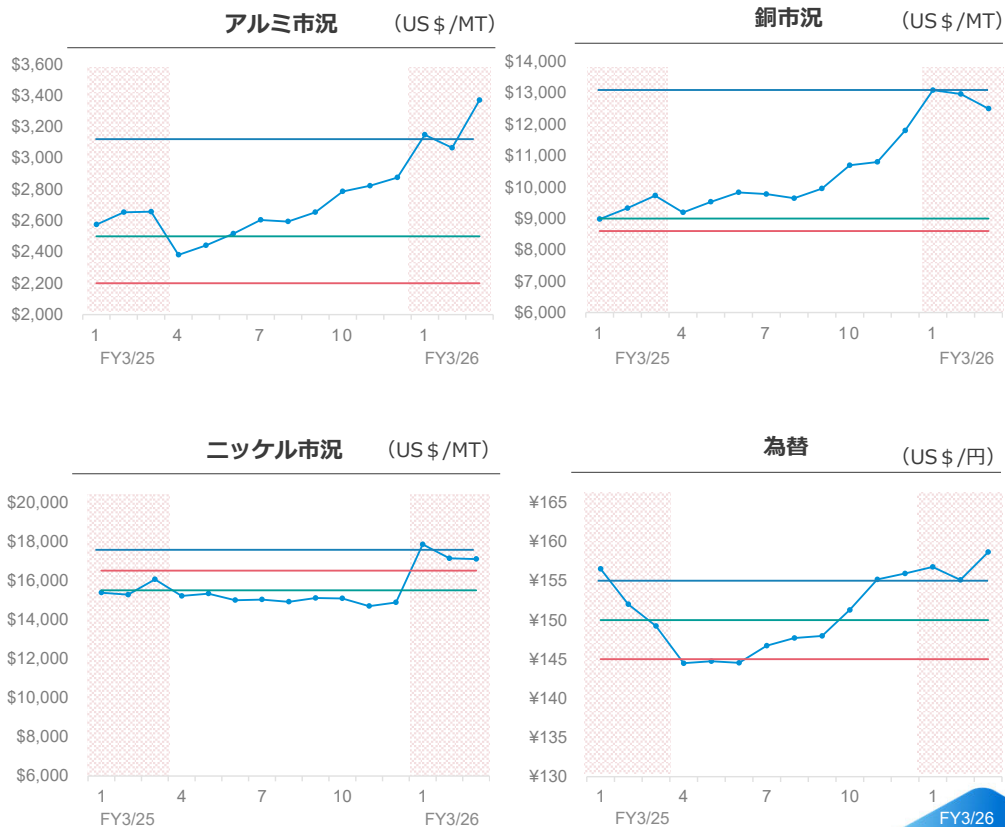


	2025年 3月期	2026年3月期			2027年 3月期
	実績 平均値	期初想定 レート (A)	実績 平均値 (B)	差異 (B)-(A)	想定 レート
アルミニウム (US\$/MT)	2,526	2,500	2,771	271	3,100
銅 (US\$/MT)	9,369	9,000	10,815	1,815	13,000
ニッケル (US\$/MT)	16,557	15,500	15,606	106	17,500
為替 (US\$/円)	152.58	150.00	150.77	0.77	155.00

※1 非鉄金属市況：小数点第1位以下は切捨表記

※2 端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

— 2025年3月期予算想定レート — 2026年3月期予算想定レート — 2027年3月期予算想定レート



INDEX

1. 2026年3月期 決算概要
2. 2027年3月期 通期業績見通し
3. 長期経営計画2030進捗
会社概要 / Appendix

2027年3月期 通期業績見通し



(百万円)	2026年3月期 実績 (A)	2027年3月期 通期見通し(B)	2026年3月期(四半期)実績				増減額 (B)-(A)	増減率 (%)
			1Q	2Q	3Q	4Q		
売上高	219,720	235,000	52,506	49,539	55,785	61,888	+15,279	+7.0%
売上総利益	30,625	32,400	7,369	6,882	8,076	8,297	+1,774	+5.8%
販管費及び一般管理費	20,882	21,700	4,923	4,916	5,032	6,010	+817	+3.9%
営業利益	9,743	10,700	2,445	1,966	3,043	2,287	+956	+9.8%
経常利益	8,947	10,000	2,052	1,907	2,904	2,083	+1,052	+11.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,598	6,600	1,267	1,305	2,372	652	+1,001	+17.9%
1株当たり 当期純利益(円)	186.58	219.95	42.34	43.53	79.04	21.67	-	-
EBITDA (参考)	14,519	15,700	3,584	3,143	4,245	3,545	+1,180	+8.1%
ROE	9.6%	10.6%						
ROIC	4.2%	5.9%						
1株当たり 配当金(円)	87	90						

【参考】2027年3月期想定レート

Al	US\$ 3,100/MT	Cu	US\$ 13,000/MT
Ni	US\$ 17,500/MT	為替	155円/US\$

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 株主資本 × 100

ROIC = 税引後営業利益 ÷ (有利子負債 + 株主資本) × 100

※「株主資本」の定義: 連結貸借対照表の「資本金」+「資本剰余金」+「利益剰余金」

※増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

2027年3月期 通期業績見通し セグメント別



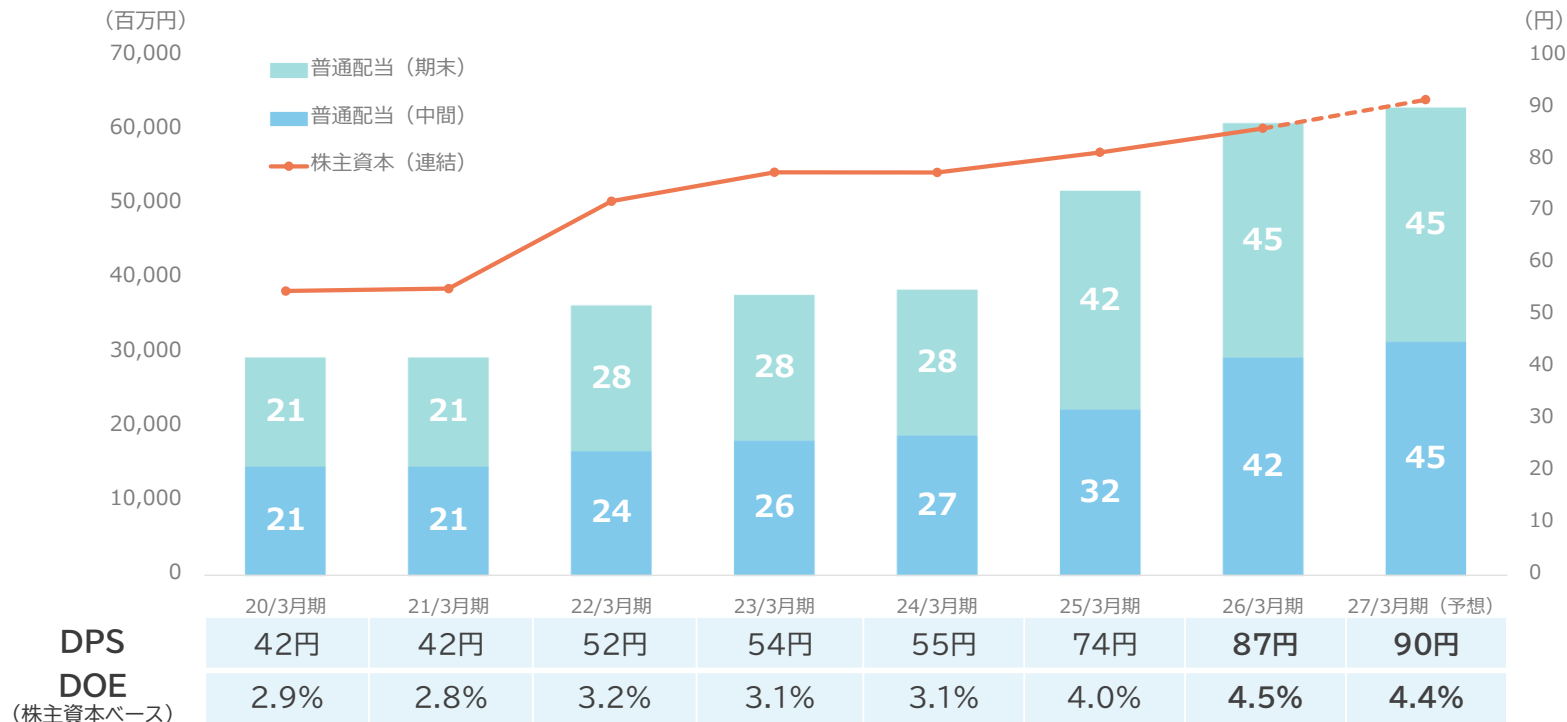
(百万円)		2026年3月期 実績	2027年3月期 見通し	構成比	増減額	増減率	
商社流通	電子機能材	売上高	39,763	35,000	14.9%	△4,763	△12.0%
		セグメント利益	2,875	2,000	20.0%	△875	△30.4%
	アルミ銅	売上高	90,601	95,000	40.4%	+4,398	+4.9%
		セグメント利益	△ 65	500	5.0%	+565	-%
	計	売上高	130,364	130,000	55.3%	△364	△0.3%
		セグメント利益	2,809	2,500	25.0%	△309	△11.0%
		利益率	2.2%	1.9%	-	-	△ 0.2pt
製造	装置材料	売上高	48,428	61,000	26.0%	+12,571	+26.0%
		セグメント利益	1,482	2,500	25.0%	+1,017	+68.7%
	金属加工	売上高	40,926	44,000	18.7%	+3,073	+7.5%
		セグメント利益	4,630	5,000	50.0%	+369	+8.0%
	計	売上高	89,355	105,000	44.7%	15,644	+17.5%
		セグメント利益	6,112	7,500	75.0%	+1,387	+22.7%
		利益率	6.8%	7.1%	-	-	+0.3pt
合計	売上高	219,720	235,000	-	+15,279	+7.0%	
	経常利益	8,947	10,000	-	+1,052	+11.8%	
	利益率	4.1%	4.3%	-	-	+0.2pt	

※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

株主還元策



- ▶ 前期より13円の増配を実施
- ▶ DOEは4%以上を目標とする



DPS: 1株あたりの配当額
DOE: 株主資本配当率(1株当たりの年間配当額÷1株当たりの株主資本 × 100)
(「株主資本」の定義: 資本金+資本剰余金+利益剰余金)

※2026年3月期末配当金は2026年6月開催予定の第45回定時株主総会に付議予定です。

Copyright ©2026 ALCONIX CORPORATION All Rights Reserved.

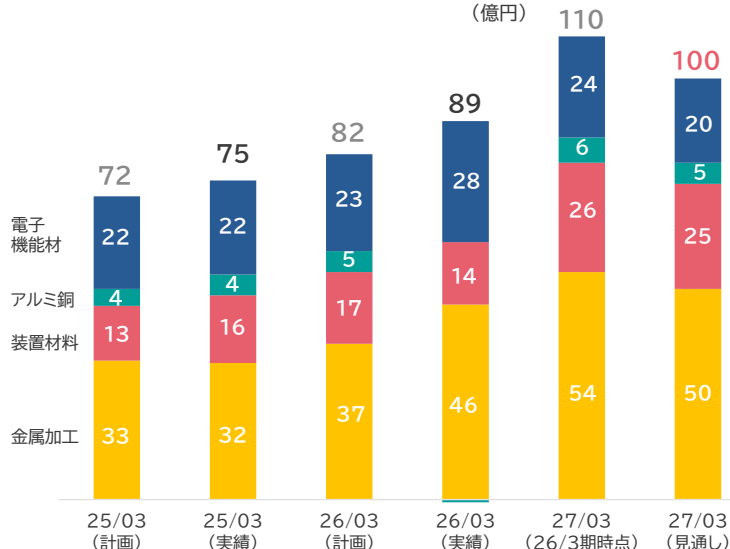
INDEX

1. 2026年3月期 決算概要
2. 2027年3月期 通期業績見通し
3. 長期経営計画2030進捗
会社概要 / Appendix

- 外部環境変化を踏まえ長期経営計画2030 2027年3月期数値目標を見直し

(百万円)	2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期		2031年 3月期
	計画	実績	計画	実績	見通し	前期比	目標
売上高	185,000	197,004	215,000	219,720	235,000	+15,279	
営業利益	7,200	6,919	8,800	9,743	10,700	+956	
経常利益	7,200	7,528	8,200	8,947	10,000	+1,052	15,000
EBITDA	11,700	11,734	13,000	14,519	15,700	+1,180	
ROE	8.1%	8.6%	9.2%	9.6%	10.6%	+1.0pt	≥12%
ROIC	4.3%	3.9%	5.4%	4.2%	5.9%	+1.7pt	≥8%

セグメント別経常利益計画
(億円)



主な成長投資案件

- 25/3月期
 - 装置材料：ユニバーティカル(銅陵工場新設)
 - 金属加工：大川電機製作所(工場新設)、大羽精研(設備増強)、ソーデナガノ(設備増強)
- 26/3月期
 - アルミ銅：アルコニックス(関東 再生資源ヤード土地取得)
 - 装置材料：ユニバーティカル(銅陵工場新設)
 - 金属加工：大川電機製作所(工場新設)、大羽精研(設備増強)、ソーデカンガス(工場設立)

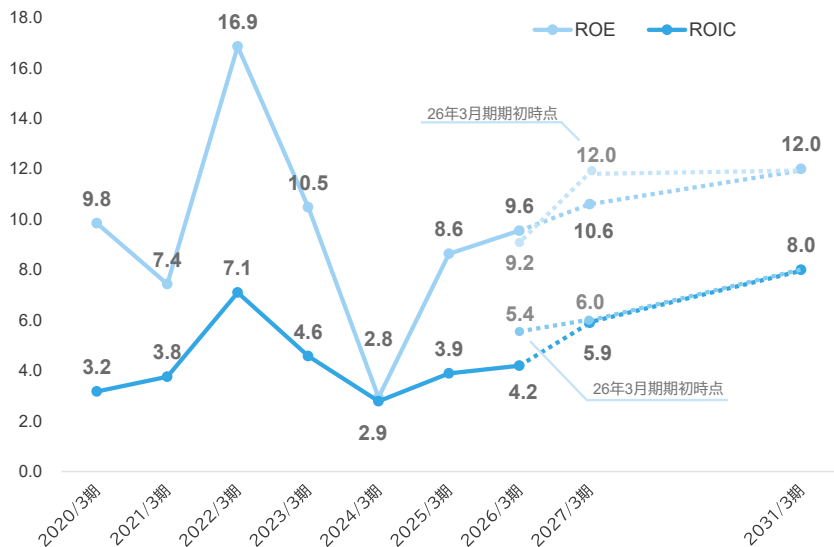
EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額
 ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 株主資本 × 100
 ROIC = 税引後営業利益 ÷ (有利子負債 + 株主資本) × 100
 ※「株主資本」の定義：連結貸借対照表の「資本金」+「資本剰余金」+「利益剰余金」

現状分析



- 現状のWACC*は7%程度と認識
- 事業ごとの資本収益性を計るROICを指標として採用
 - 2027年3月期 : ROE10.6% ROIC5.9%
 - 2031年3月期 : ROE12%以上 ROIC8%以上を目標とする

ROEとROICの推移

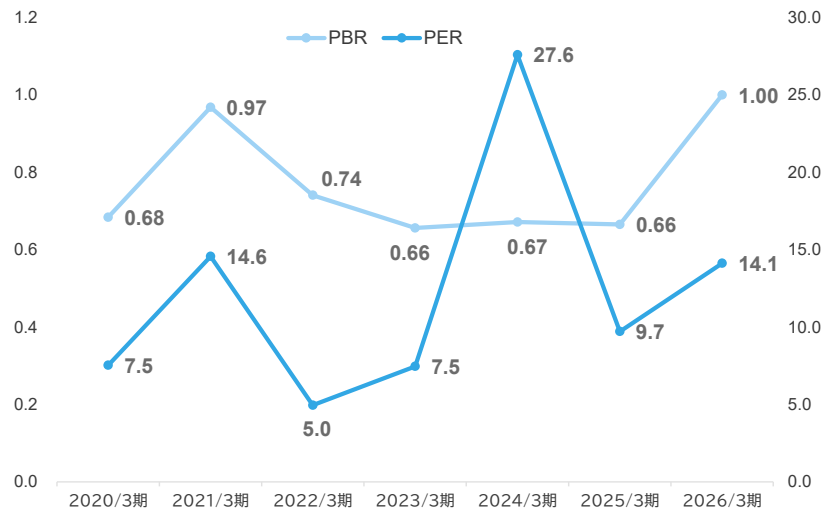


* 当社試算加重平均資本コスト
 ※26年3月末時点

【2024年3月期】

- 中国グループ会社の構造改善費用を計上
- 中国向け債権の貸倒引当金を計上

PBRとPERの推移



基本方針

- グループ収益力の安定化と成長力を高め、新たな成長曲線を描く
- 「パーパス・ビジョンの具現化」と「資本コストや株価を意識した経営」を両立し、「商品・資本・人材」の好循環を生み出す
- グループの持続的な事業成長を支える経営基盤を充実させ、事業活動を通じた社会の課題解決への貢献を果たす

◎:計画達成済 ○:進捗良 △:課題有

	取組みテーマ	グループアクションプラン	進捗状況
<p>事業戦略 収益力 強化・創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の仕分・組替とグループの連携により価値創造を極大化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アルミ銅事業や装置材料事業の一部事業の経営統合・業界再編を推進 ■ 装置材料事業や金属加工事業の一部低採算事業の事業構造改革を断行 ■ 事業戦略に沿った新規M&Aを継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・ アルミ銅事業における4社統合*方針を決定。 △ ・ 装置材料事業および金属加工事業の一部事業について、収益性改善を目的とした構造改革を推進。不採算領域に対するロスカットを含めた施策を断行中。 ○ ・ 複数の新規M&A案件の検討を進めるとともに、当社戦略と整合する事業領域および適正な経営規模のターゲット要件を整理。あわせて、多様なソーシング手法の確保に向けた体制構築を推進。 <p>* 2026年2月24日「連結子会社間の合併に関する統合準備のお知らせ」参照 林金属、アルコニックス・三高、平和金属、ACメタルズ4社のうち1社を存続会社とする吸収合併方式を想定</p>

	取組みテーマ	グループアクションプラン	進捗状況
<p>事業戦略 収益力 強化・創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> 成長市場領域とグループが提供する価値が合致する事業に注力 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルセンターの拡張・全国展開による循環社会の実現 半導体関連領域におけるテック素材・装置部材等のグループ内コラボレーションによる製品化と社会実装の実現 モビリティ・次世代エネルギーに跨る電動化領域でのハイテック素材・部材等の開発・製品化とグループ内バリューチェーンの構築 医療領域での最新生体適合素材開発や医療ロボット用精密加工部品・器具など高度医療分野への展開 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非鉄金属リサイクル事業において、東日本エリアでの新規拠点設立に着手するとともに、本社にリサイクル本部を新設、事業基盤の強化フェーズへ移行。 ○ 世界的なデータセンター需要の拡大や安全保障の観点から高まる航空・宇宙・防衛向け部材需要を背景に、半導体・モビリティ・素材分野に共通するレアメタル等の素材を軸として、グループ事業を牽引。 ○ 次世代エネルギー、自動車、医療分野においては、既存事業の強化と新規領域の開拓を両立すべく、CVCの活用を含めた戦略的投資を推進。 ○ 高成長が見込まれるインド市場をグループ重点戦略エリアと位置づけ、現地法人を設立。強みである空調(熱管理・熱制御)分野を起点に、複数事業への展開を視野に事業基盤の構築を推進。

INDEX

1. 2026年3月期 決算概要
 2. 2027年3月期 通期業績見通し
 3. 長期経営計画2030進捗
- 会社概要 / Appendix

- 会社名 アルコニックス株式会社
- 本社 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 山王パークタワー12階
- 設立 1981年7月1日
- 資本金 5,907百万円(2026年3月末)
- 従業員数 3,098名(連結) (2026年3月末)
- 上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場 (証券コード: 3036)
- 事業内容 アルミ、銅、ニッケル、レアメタル・レアアース等の製品並びに原材料等の輸出、輸入及び国内販売および金属加工を中心とした製造業

非鉄金属業界における当社の位置づけ

商社流通



製造



商社流通

電子機能材事業

スマートフォン、車載用電池向け材料や
レアメタル・レアアースの鉱石・地金・製品を取扱う

主要な事業領域



IT機器



二次電池
(蓄電池)



半導体・電子部品

商社流通

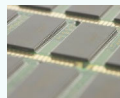
アルミ銅事業

アルミ圧延品/加工品、伸銅品、金属珪素、鉛地金、
アルミ/銅スクラップの取扱いとリサイクル事業を行う

主要な事業領域



自動車



半導体・電子部品



家電製品

製造

装置材料事業

自動車・鉄鋼関連向けに
製造業向け材料および検査装置を製造する

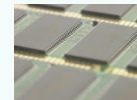
主要な事業領域



自動車



鉄鋼



半導体・電子部品

製造

金属加工事業

半導体・自動車・空調向けに、
各種精密金属加工部品を加工・製造する

主要な事業領域



半導体製造装置
(実装装置含む)



自動車



業務用エアコン

M&Aの考え方 - 方針 -

- 補完型M&Aで一気通貫のバリューチェーンを構築する(垂直型)
- 精密金属加工という共通性と地理的な分散を有効活用し
「半導体」「モビリティ」という勝ち筋領域においてグループとしての受注機会を最大化する(水平型)
- 事業承継型M&Aでモノづくり企業の再編統合や事業を再構築することで技術を承継し継続的な成長を後押しする



自律成長の支援を行い、収益力の向上を目指す

アルコニックス流 M&Aの7つの方針

1. 飛び地にはいかない=自社グループ事業と関連あるモノづくりの技術(Technology)をもつ企業を選択する
2. 陳腐化しないニッチ(Niche)な分野で強みをもつ企業を選択する
3. 事業再生案件には介入しない
4. 対象企業の個としての成長(Growth)を重視し、成長過程のなかでグループシナジーを見つけ出す
5. 加工する機械や設備などを調査し、次なる成長(Growth)への糧を見出す
6. オーナーの人柄、経営に対する姿勢を十分に理解する
7. 基本的には株式を100%買い取る

事業承継型 M&A

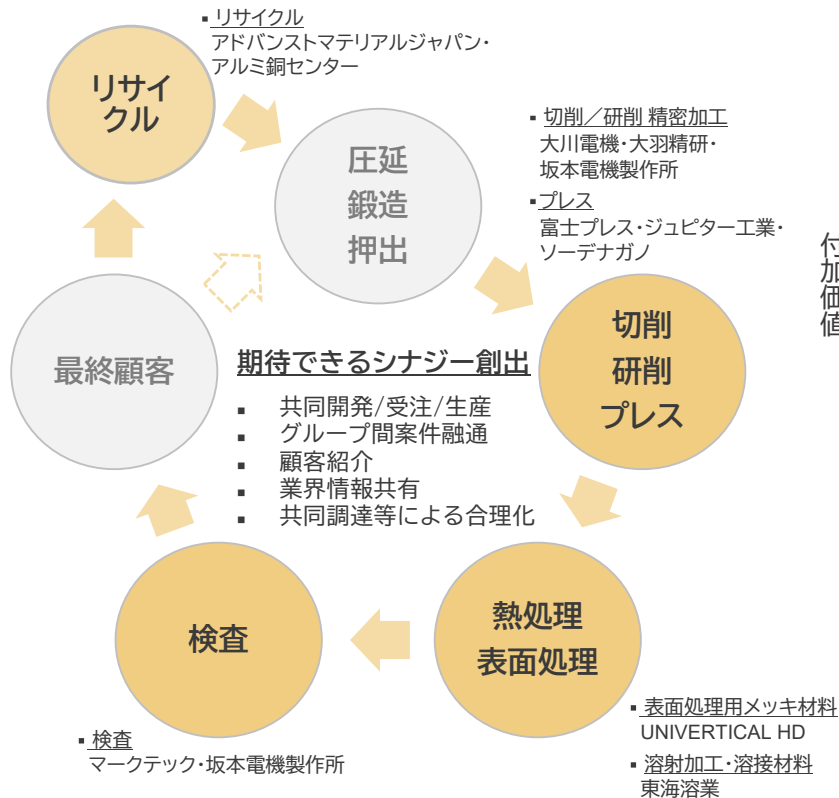
グループ間の技術者交流や協業の促進
経営資源の最適化・投資余力の確保

高付加価値製品の技術承継で持続的に稼げる企業へ
設備や人材へ投資することにより成長能力を底上げ

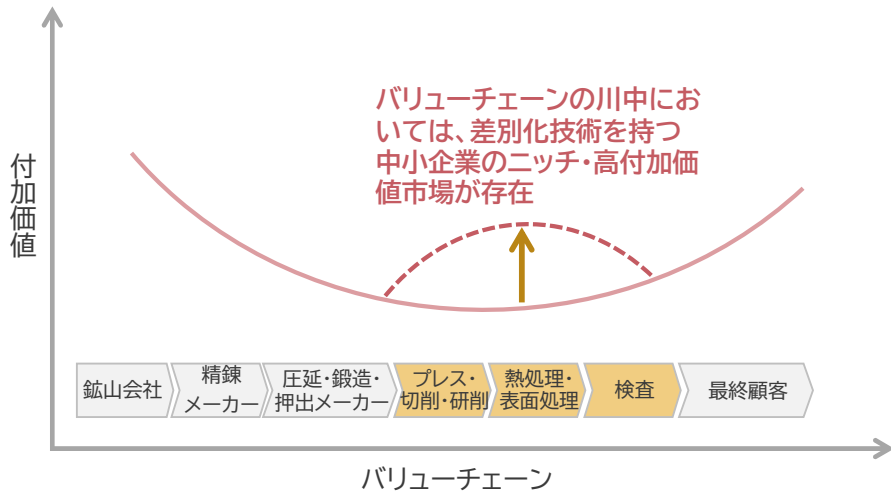
日本のモノづくりへの貢献

補完型 M&A

① 金属加工バリューチェーンを補完(垂直型)



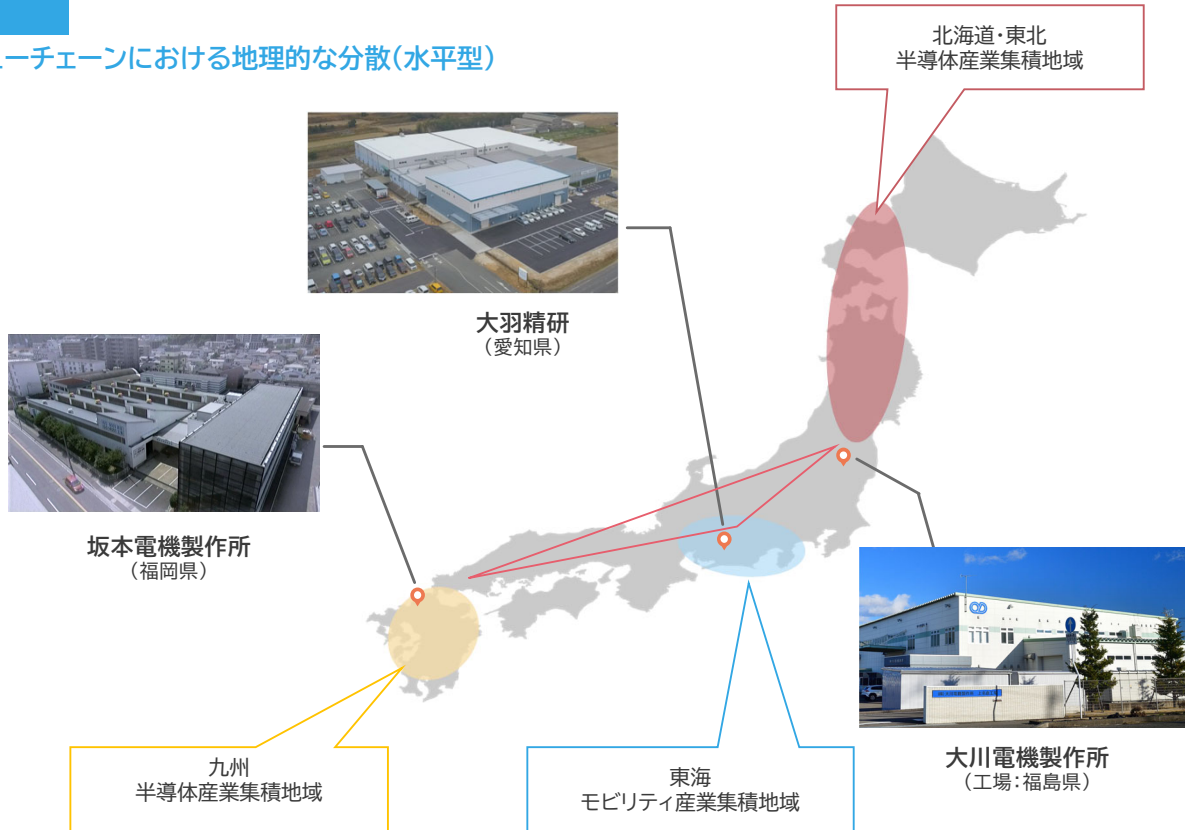
金属加工バリューチェーンにおける付加価値



アルコニクスグループ内でバリューチェーンを構築し
複数ステップを自社に取り込み、利益の取りこぼしを極小化する

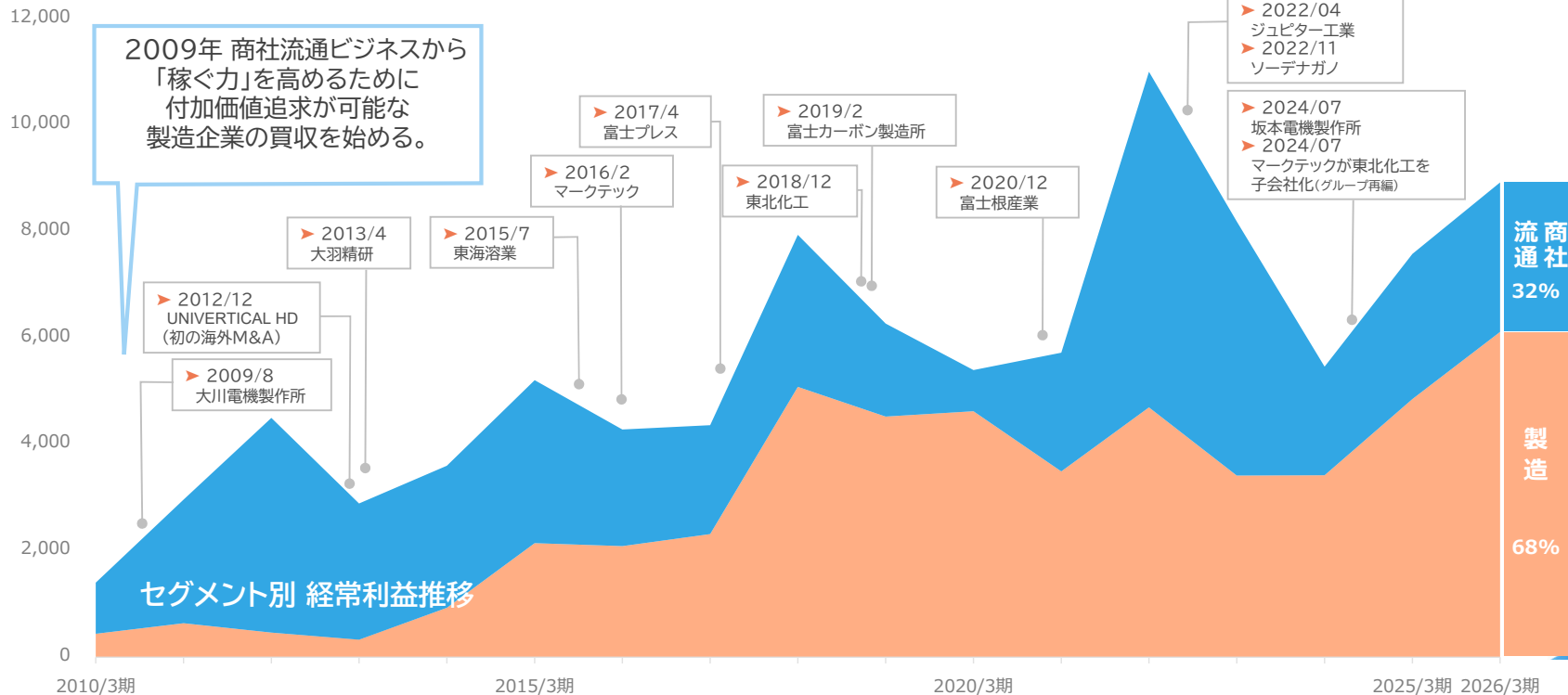
補完型 M&A

② 金属加工バリューチェーンにおける地理的な分散(水平型)



アルコニックスM&Aの歴史

- 2009年「M&Aで『安定』を買う」「稼ぐ力を高める」ため非鉄事業を中心に「製造業」に進出
- 製造セグメントが連結決算の半分以上を稼ぐまでに成長
- グローバルに通用するニッチ分野におけるトップ技術やノウハウを保有する企業をグループ化



アルコニックスベンチャーズ | CVC (コーポレートベンチャーキャピタル)



従来のM&Aに加え、2021年8月CVCを設立。「もうはじまっている“未来”を掴む」をミッションにアーリー・ミドルステージを中心に素材・モノづくり分野の有望ベンチャー企業へ投資

当社CVCの特徴

商社機能と製造機能の両面からの**ハンズオン支援**
販売・調達、開発・製造・実証など幅広い分野で事業育成を支援



投資先事業領域

| 素材(Material)

半導体、IoT、車載関連分野を中心とした**新素材**

カーボンナノチューブ | 発泡金属 | 電池材料 | 磁性材料
化合物半導体 | 高周波対応材料 | 導電性ペースト | 放熱材料

| モノづくり(Manufacturing)

新たなイノベーションをもたらす**製造・物流の自動化技術**や
資源循環型社会に貢献する**クリーンテック**

AI / ロボティクス | マテリアル インフォマティクス | 自動外観検査装置 | 自動搬送ロボット
金属リサイクル | 金属3Dプリンター | 水素発生装置 | ドローン



次世代パワー半導体で
社会を変える
アルコニックスグループと
スタートアップが
挑む「未来」



投資実績

運用資産 3,000百万円
投資実績 11件(2026年3月末現在)



サステナビリティ推進の進捗状況

- 現状スコアとKPI・目標

H

【女性管理職比率】
【教育研修費/人】
【教育研修時間/人】

～24年3月期

25年3月期

27年3月期KPI/目標

6.4%
7.9万円
15.5h

6.8%
11.9万円
18.6h

10.0%
18.0万円
18.6h以上

(いずれも単体ベース)

E
S
G

当社グループへの外部評価の推移

当社のありたい姿

【CDP スコア実績】

D

(23/3期 初解答)



C

(24/3期)

【FTSE ESG総合スコア】*()内は業界平均値からの上下

0.6(-) → 0.8(-) → 1.1(-) ▶ 1.6(-)

(20/3期)

(21/3期)

(22/3期)

(24/3年期)



1.7 (-)

(25/3期)



業界平均以上

【EcoVadis 総合得点】

31

(23/3期)



39

(24/3期)

(平均業種別スコア46-50)

44

(25/3期)

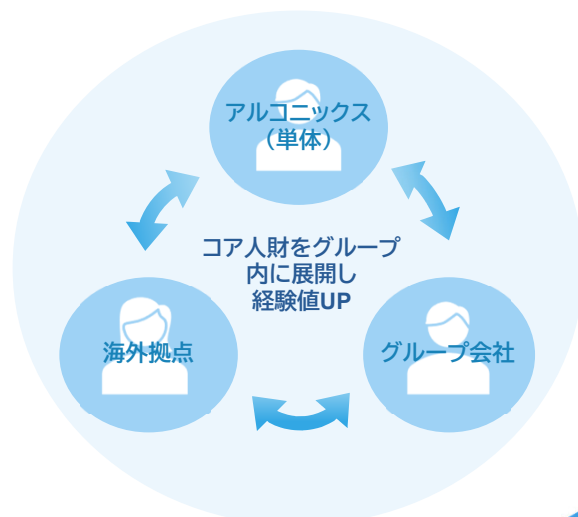
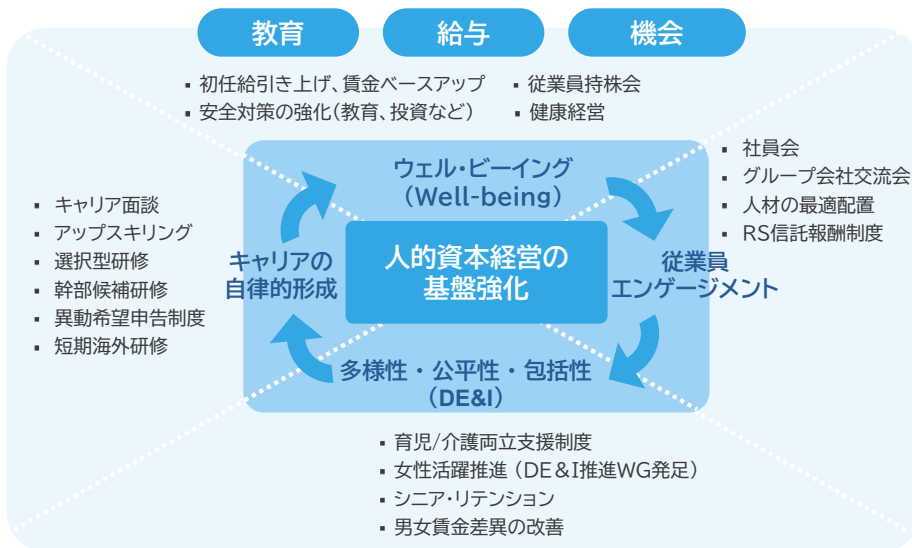
平均業種別スコア以上

パーパス 「どこかにいる、だれかの未来のために」

ビジョン 「ヒトをつなぐ、モノをつなぐ、技術をつなぐ」

ヒトをつなぎ、コア人財を育成し、稼ぐ力を強化

- ✓ 従業員のスキルや経験値を上げることで、仕事へのモチベーションとパフォーマンスを向上させる
- ✓ 事業ポートフォリオ組替に応じた人財の最適配置と、新規ビジネスを創出できるコア人財の確保・育成
- ✓ 商社から製造・開発まで幅広い業務や経験を通じた、グループ経営の次世代を担うマネジメント人財の育成



人的資本



ウェル・ビーイング (Well-being)

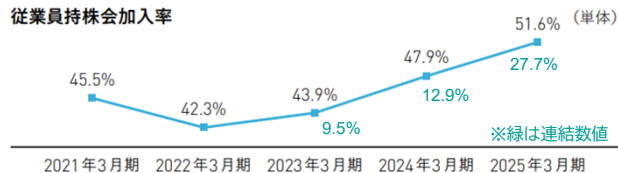
9年連続ベースアップを実施

ベースアップと定期昇給を組み合わせて消費者物価指数を上回る：3.0%の賃上げを実施。
7.1年入社の新卒社員初任給を93.0%引き上げ、87万円とする。

従業員持株会

アルコニクスグループの従業員向け福利厚生の一環として設置。拠出金に対し75%の奨励金を支給。

従業員持株会加入率



従業員エンゲージメント

従業員エンゲージメントスコア

	(単体)		
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
スコア	3.43/5	3.44/5	3.50/5

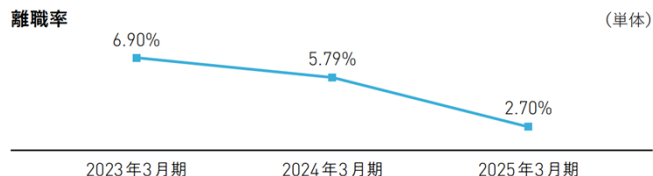
従業員向けインセンティブ・プラン (Wx信託) 報酬制度の導入

従業員の帰属意識を醸成し経営参画意識を高めることを目的として、7579年：月に導入。(単体)

従業員離職率

7576年9月入社の新卒社員以降、新卒8年後定着率は655%を維持。

離職率

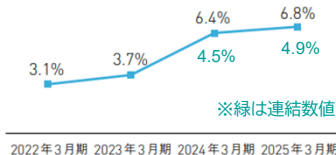


多様性・公平性・包括性

EJ&I推進ワーキンググループの発足

初期フェーズでは「女性活躍推進」や「女性の働き方」に焦点を当て、会社と連携し各種施策を取組む。

女性管理職比率の推移



女性管理職比率 (単体)

実績 (2025年3月期)

6.8%

目標 (2027年3月期)

10.0%

男女賃金差異の改善

女性の中途採用や管理職登用等、ジェンダー間の機会均等を図る取り組みの結果、男女の賃金差異は改善傾向にあり、757<年8月期目標(全社員区分で女性：53へ引上げ)を757<年8月期に前倒して達成。

男女賃金差異

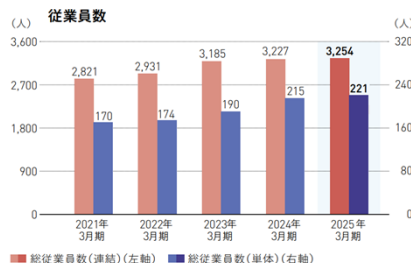
(単体)

区分	2024年3月期	2025年3月期
全社員	男性100：女性56.6 68.4	男性100：女性60.5 72.3
管理職	男性100：女性83.8	男性100：女性87.3
非管理職	男性100：女性86.7	男性100：女性88.4

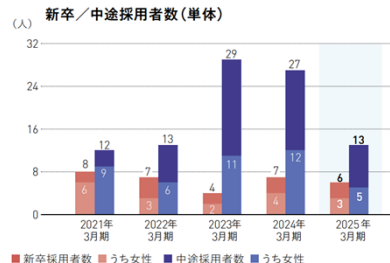
※緑は連結数値

※ 同一職位グレードにおける男女賃金差異はありません。

従業員数



新卒/中途採用者数 (単体)



※ 従業員数は就業人員は当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。

シェアードリサーチ社によるアナリストレポート

中立性客観性を重視し、第三者視点での調査、分析に基づいて作成されたシェアードリサーチ社のアナリストレポートを公開しています。事業構造や競争環境、優位性等の網羅的な内容となっており、投資家の皆様に当社へのご理解を深めていただき、投資判断のご参考としていただけますと幸いです。

アルコニクス株式会社 | Shared Research

【DISCLAIMER】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おさください。

IRに関するお問合せ先

アルコニクス株式会社 IR広報部

ir@alconix.com